

## 令和6年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：植水公民館（西区）

取組名

**【地域づくり・つながりづくり】**

植水公民館は、地域の魅力を再発見する取り組みを行い、「地域づくり」・「つながりづくり」へ発展します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

植水地域には歴史的資産や伝説等が数多く残されているが、世代交代や核家族化でその魅力を後世に残していくことが課題である。また、地域のことをよく知る方々の高齢化により「植水」という地域の歴史を受け継ぐ人材が減りつつある状況である。地域のことを再発見するための取り組みとして、「地域講座」をはじめとして様々な世代が公民館に足を運んでもらえる学習機会を提供するとともに、職員も公民館を飛び出して地域の方々とつながるための行動を起こすこととした。

令和6年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・「植水」という地域をよく知る方に講師となっただき、「地域講座」を実施し改めて地域の魅力を知ってもらう機会を提供した。
- ・植水小学校の子どもたちを対象に、当館の民具収蔵庫見学をしてもらい、地域の方々に説明や昔の道具を使用する実演等を行ってもらった。
- ・既存の公民館主催事業だけでは足を運んでもらえない方々に、なんとかして公民館に来てもらうために「楽しくおしゃべり腸活発酵食品」などの“公民館らしくない事業”を実施した。
- ・植水公民館区域内の自治会主催事業に職員が協力・参加をし、地域を盛り上げるために落語会をプロデュースした。（年度内3回）

＜取組による成果＞

- ・「地域講座」は継続して実施している事業で、地域の魅力を知ってもらうには一番効果がある取り組みであり、公民館区域や近隣からの参加者が多いため、つながりづくりにもなった。
- ・良い意味での“公民館らしくない事業”に取り組んだことで、公民館に初めて来たという参加者を複数獲得することができた。
- ・自治会の事業に協力することで、「地域と行政をつなぐ最前線の施設」をアピールすることができた。

<今後の課題>

- ・貴重な地域人材が高齢化のため減りつつあるので、掘り起こしが必要である。
- ・魅力ある良質な学習機会を企画して獲得した新たな参加者を、その後につなげていくための“しかけづくり”を進める必要がある。
- ・地域と公民館、そしてさいたま市をつなげるための工夫がさらに必要である。

拠点公民館記入欄

推薦コメント

植水地域には、歴史的資産や伝説などが数多く残されているが、その地域の魅力を伝えていく必要がある。そのような中、植水公民館では「地域」の魅力を再発見してもらうための「地域講座」を開催している。

地域に密着した話を地元の人にしてもらい、参加者も近隣からの方が多いことから、その講座のテーマ以外の歴史・地域のお話なども聞きやすく、普段から気になっていることも質問しやすい気軽な雰囲気での受講が可能となるため、参加者も多く、参加者同士のつながりづくりにもなっている。